

大阪・関西万博へ

土岐市 → 名古屋駅 → 新大阪 → 夢州



夢州駅階段



すでにたくさん的人が開場を待って 並んでる



たくさんの国旗が！

9時 いよいよ入場。



入って正面に
ミヤクミヤクの
オブジェ発見
カラフル！

事前予約からはハズれてしまい、当日券をとれるところを

探したり、予約なしで見れるパビリオンへ行くことに。

でも、とにかくたくさんの人と暑くて…。

熱中症対策はしてきたけど、とにかく暑い！

天気	最高気温	最低気温
	36.8°C	27.9°C

当日の気温



楽譜がモチーフの「オーストラリア館」へ。

クラシック音楽が流れる館内。展示の後半には自分の動きに合わせて音が出る仕組みがあって、おもしろかった。



オーストリアへ
ようこそ！

WELCOME
TO AUSTRIA!
WILLKOMMEN
IN ÖSTERREICH



世界に16台しかないベーゼンドルファーの
ピアノ。しかも葛飾北斎の浮世絵が描かれ
ていた。高そう。自動演奏でスゴイ。



「中華人民共和国」へ。

インパクトのある外観。
文字は読めないけど、漢字が書いてあって映画でみた、中国の巻物を広げたのを
イメージしたそう。

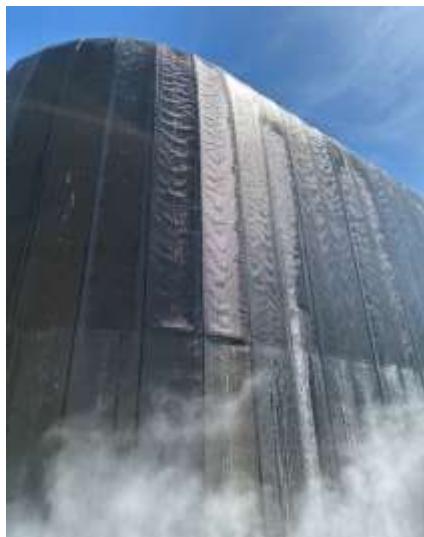


中に入ると、展示物の説明が、ガラ
スに出るようになっていてびっくり。
しかも、いろいろな言語を選択できる
ようになっていた。



古代の感じから現在、未来の技術もあり、おもしろく見て回ることができた。
月の土(?)も展示してあった。

同じ建物がなく、すごかった。予約が取れなくて、中がみられないのが残念だったけど、いろいろなパビリオンがあり、見ているだけでもおもしろい。また、色々な国の人々が来ていた。



近くにいるだけで 涼しかった



一番行ってみたかった、「イタリア館」。予約が…。
予約が取れた人たちもたくさん並んでいて人気だった



ガンダムを見つけたよ



先端にアトムが！



「未来の都市」

仮想空間と現実空間が混じっている世界で、AIによる展示や実際に携帯のアプリを使った体験型の展示があった。未来の生活がどう変わっていくのか、どんな未来になるのかが分かりやすく展示してあり、おもしろかった。病気になったときに、僕たちが病院に行って診察を受けるのではなく、自宅でカメラなどにうつすことで診察を受けたり、ドローンで薬が届くなんてすごいと思った。また、離れて暮らす祖父母と一緒に誕生日を祝うなど、まるで同じ空間にいるみたいなリアルな映像に驚いた。信号など町の中の様子も未来では今と違っていた。すごく便利な夢のような感じ。

地球温暖化についても CO₂を削減するためにいろいろな取り組みがされているけど、コンクリートが吸収するなんてびっくりした。しかもそのコンクリートが目の前に。見た目にはぜんせんわからないけど、すごい技術の塊にみえた。



いろいろな企業がそれぞれ考え開発しているものを見ることができた。

交通、街づくり、エネルギー、農業などいろいろな分野が紹介されており、未来の世界はスゴイ！



「大屋根リング」



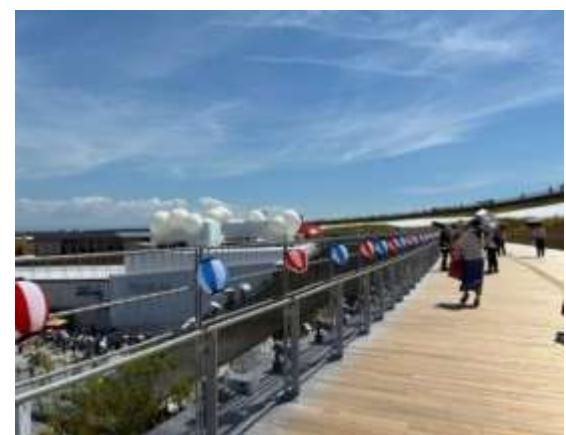
近くから見るとすごく大きい！

下は日差しを遮ってくれるので、暑かったから、この下を歩いて移動。木造建築でできていってすごい。

上に上ると会場内はもちろん、大阪湾も見ることができた。でも 暑い。日差しがきつい……。

一周約2kmって紹介されてたけど、暑くて1周はとても無理だった。

夕方とか夜はまたさらにきれいに見えるんだろうなと思った。





まとめ

各国のパビリオンにはとても魅力的なアートがあった。また、最先端の技術やAIを使ったものたくさんあり、見どころが満載だった。夏場にいくのはとても暑くて大変だったけどいろいろな場所に行って楽しめたのでよかった。暑さのせいで、1日いるのは無理だった。夜のライトアップまで見れなくて少し残念だった。

万博では現金は一切使えない、キャッシュレス化が進んでいた。自分が大人になったとき、今回見た、技術や車、電車などのものがもっと身近なものになっているのかなと思った。そんな未来が楽しみになった。自分も何かできることやそんなことに携わるといいなと思った。

予約がもっと簡単にちゃんととれるといいけど、たくさん的人が訪れていたので仕方ないかとも思った。

予約なしでも十分楽しめたし、また、機会があれば行きたいと思った。
楽しくて、貴重な体験ができた。

